

人権に関する作文 (若槻小学校) 発表



コミわかでは人権教育・啓発活動として毎年住民集会を開催し、小中学校の生徒さんに人権に関する作文を発表していただいておりますが、昨年同様に本年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため住民集会の規模を縮小しました。生徒さんの作文とポスターは広報紙による発表とさせていただきます。この機会にぜひ人権について考えてみませんか？
(人権教育部会)

「合唱団を通して」

6年3組 佐藤 和花奈

私は四年生から合唱団に入っています。

合唱団といえば、ただ並んで歌っているイメージですが、実はチームワークがとても大切です。現在、合唱団の団員は二十七人で、私と同じ六年生は六人しかいません。私は、合唱団の活動を通して感じた他学年との「仲よし」について書きたいと思います。私は今年、アルトのパートリーダーになりました。四、五年生のころは、合唱団の中に、同じ学年以外の友達はほとんどいなかったし、作ろうとも思いませんでした。でも今年、パートリーダーになって四年生や五年生の意見を聞いているうちに、「そういう意見もあるんだな」と相手の気持ちを知ることができ、納とくし合うようになりました。すると不思議なことに、今度は合唱のことだけではなく、休けい時間に話したり、ろう下ですれちがうと手をふったりするようにもなりました。私はこのパートリーダーとしての活動を通して、「小さなきっかけがあれば、自然と仲よくなっていくんだな」と気づきました。

来年から中学生です。同じクラスにならない人も、同じ学校に行かない人もいます。そんな新しい場所でも、人から話しかけられる前に自分から話しかけたり、もし話しかけられたら、「うん」や「そうだね」だけではなく、少し話のはばを広げたりして、仲良しを増やしていきたいです。そしてこれからも、友達をたくさん作っていきたく思います。

「人との関わり」

6年1組 丸山 湊叶

人との関わりで大切なことは、相手の気持ちを知ることだと思います。困っている友達がいたら、自分から声をかけるようにしています。

例えば、修学旅行の班行動で、どうやって見学するか決めるときがありました。そういうときには、一人一人の意見や気持ちを聞いて、全員が楽しく見学できるように決めました。自分から意見を積極的に言えない友達がいたら、こっちから意見を聞くと言ってもらえるから、自分から声をかけるようにしています。

このように、みんなで考えたりするときは相手の気持ちを聞いたり、自分の気持ちを伝えて、相談することが大切だと思います。

これからも、相手に声をかけて相談したり、おたがいの気持ちを理解して、人と関わっていきたくたいです。



皐月かがやきこども園の園児の皆さんとサツマイモ掘りしました

コミわかグリーン倶楽部(KGC)は、皐月かがやきこども園の園児との交流拠点として、徳間川沿いの市民菜園の一部を使っていましたが、園からの距離が遠かったこともあり、今年からは近い畑にしようと考え、長野養護学校の南側の畑に場所を移したところです。

園児たちと一緒に植え付けたサツマイモの収穫体験会を10月11日、園児約85名を迎えて実施しました。

幸い当日は好天に恵まれ、園児たちは昭和の森公園にある園からの道のりを歩いて到着するや、可愛いあいさつを交わすと直ぐに畑に散って、長い芋のツルを引張ったりの大はしゃぎ。オ

ジイサンたちがスコップでイモの根元を緩めてやると、我先に土の中に手を突っ込んでイモを掘り出して歓声を上げていました。今年は大豊作で、収穫したサツマイモは園の焼き芋大会用に寄付するとともに子供たちにも沢山お分けしました。イモを背負いながら帰路につく園児の笑顔に癒され、栽培の苦勞も吹き飛んだ時間でした。

更に収穫の一部はコミわか土曜朝市でも販売することにしました。

この事業は今年で12回目。こども園の要請もあることから、継続して実施することとしています。(コミわかグリーン倶楽部)

